

平成 25 年 8 月

## 「第 25 回東京湾大華火祭」が開催されました

平成 25 年 8 月 10 日（土）に第 25 回東京湾大華火祭が開催されました。この花火大会は、隅田川花火大会や神宮花火大会と並ぶ東京で開催される代表的な花火大会の一つです。

主催：東京湾大華火祭実行委員会、中央区、朝日新聞社

後援：東京都、中央区観光協会、中央区商店街連合会、中央区工業団体連合会、東京商工会議所中央支部、（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団

協力：江東区、臨海副都心まちづくり協議会 協賛：民間企業各社、団体等

東京湾大華火祭は、昭和 63 年（1988 年）に第 1 回大会が開催され、今年で 25 回の節目を迎えました。

晴海は、第 1 回大会より、5 丁目にメイン会場が設置され、毎年多くの観客が訪れて、日本屈指の夜景スポットを背景に花火を楽しんでいます。

今年も好天に恵まれて、約 1 万 2 千発の花火が打ち上げられました。

観客も全体で約 68 万人（主催者発表）となりました。

また、今大会では、2020 年オリンピック・パラリンピック開催都市の決定に向けて、東京招致を盛り立てようと、五色の輪でできた花火もダイナミックに打ち上がりました。



<東京湾大華火祭パンフレット>



# 東京湾大華火祭 25年の歴史

## 第1回 1988

■実施日: 昭和63年8月13日(土)  
 ■総打上数: 10,546発  
 ■観客数: 20万人

記念すべき第1回大会は、東京創刊百周年を迎える朝日新聞社との共催により開催しました。東京湾大華火祭の歴史のスタートです。当初は、晴海会場内に特設ステージを設け、ライブコンサートも行っていました。(第7回大会まで)また、200mに及ぶナイアガラの仕掛け花火の演出もありました。(第8回大会まで)第1回大会では、陸上からの打上げではなく、海上2か所の台船から花火を打上げました。最大花火は、7号玉(21cm)でした。



記念の第1回開催

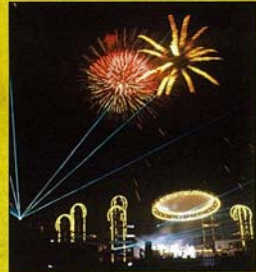
## 第2回 1989

■実施日: 平成元年8月12日(土)  
 ■総打上数: 10,236発  
 ■尺玉: 60発  
 ■観客数: 36万人

早くも、第2回大会から尺玉(30cm)の登場です。また、虎の尾などに代表される陸上からの打上げを開始し、演出の幅が広がりました。

## 第3回 1990

■実施日: 平成2年8月11日(土)  
 ■総打上数: 11,514発  
 ■尺玉: 60発  
 ■観客数: 45万人



花火と音と光のコラボレーション

## 第4回 1991

■実施日: 平成3年8月10日(土)  
 ■総打上数: 9,664発  
 ■尺玉: 54発  
 ■観客数: 52万人

## 第5回 1992

■実施日: 平成4年8月8日(土)  
 ■総打上数: 12,060発  
 ■尺玉: 80発  
 ■観客数: 48万人



200mにも及ぶ2段ナイアガラの「開田川」

## 第6回 1993

■実施日: 平成5年8月14日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺玉: 80発  
 ■観客数: 53万人

この年、レインボーブリッジが完成し、花火の背景がますますバージョンアップします。



レインボーブリッジとの共演

## 第7回 1994

■実施日: 平成6年8月13日(土)  
 ■総打上数: 11,880発  
 ■尺玉: 100発  
 ■観客数: 53万人

第7回大会から、尺玉は100発となりました。

## 第8回 1995

■実施日: 平成7年8月12日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺玉: 100発  
 ■観客数: 48万人

ひと夏の思い出に、夢や思いを込めて・・・、そうしたメッセージとともに打上げる「メモリアル花火」を実施しました。メモリアル花火は、第12回大会まで行いました。○これまでに届けられたメッセージ○例)結婚おめでとう!  
 ・お父さん、お母さん、いつまでも元気であってね。

## 第9回 1996

■実施日: 平成8年8月10日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺玉: 100発  
 ■観客数: 55万人

## 第10回 1997

■実施予定日: 平成9年8月9日(土)  
 記念の第10回大会でしたが・・・、残念ながら、荒天のため中止となりました。

## 第11回 1998

■実施日: 平成10年8月8日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺玉: 100発  
 ■観客数: 56万人

## 第12回 1999

■実施日: 平成11年8月15日(日)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺玉: 100発  
 ■観客数: 51万人

荒天のため、順延しての開催です。

## 第13回 2000

■実施日: 平成12年8月12日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺玉: 100発  
 ■観客数: 55万人

## 第14回 2001

■実施日: 平成13年8月11日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発 / 尺玉: 100発  
 ■観客数: 57万人

本華火祭の最大の目玉である尺五寸玉(45cm)は、第14回大会からの登場です。

## 第15回 2002

■実施日: 平成14年8月10日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発 / 尺玉: 100発  
 ■観客数: 65万人

大会をより多くの皆さまに支えていただくため、第15回大会から個人協賛席(日の出招待会場)を導入しました。



東京湾大華火祭の醍醐味、大規模な「虎の尾」

## 第16回 2003

■実施日: 平成15年8月10日(日)  
 ■総打上数: 13,000発  
 ■尺五寸玉: 10発 / 尺玉: 150発  
 ■観客数: 72万人

第16回大会は、「中央区江戸開府400年記念」として開催しました。過去最大の総打上数13,000発、尺玉も150発と、例年よりもスケールアップしての開催でした。また、仲仕掛け花火として「江戸400年」を演出し、記念事業に「華」を添えました。

## 第17回 2004

■実施日: 平成16年8月14日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発 / 尺玉: 100発  
 ■観客数: 71万人

## 第18回 2005

■実施日: 平成17年8月13日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発 / 尺玉: 100発  
 ■観客数: 68万人



東京湾大華火祭名物「カム口菊」

## 第19回 2006

■実施日: 平成18年8月13日(日)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発 / 尺玉: 100発  
 ■観客数: 61万人

荒天のため、順延しての開催です。

## 第20回 2007

■実施日: 平成19年8月11日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発  
 尺玉: 100発(うち芸術玉20発)  
 ■観客数: 71万人

第20回大会から、名人花火師による芸術玉(尺玉20発)の打上げを開始しました。また、海上の打上台船は、2か所から3か所へ増えます。



陸上火火と海上花火の同時打上げ

## 第21回 2008

■実施日: 平成20年8月10日(日)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発  
 尺玉: 100発(うち芸術玉20発)  
 ■観客数: 70万人

## 第22回 2009

■実施日: 平成21年8月8日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発  
 尺玉: 100発(うち芸術玉20発)  
 ■観客数: 70万人



五つの輪に願いを(東京オリンピック招致活動の応援花火)

## 第23回 2010

■実施日: 平成22年8月14日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発  
 尺玉: 100発(うち芸術玉20発)  
 ■観客数: 70万人

## 2011

東日本大震災により中止となりました。

## 第24回 2012

■実施日: 平成24年8月11日(土)  
 ■総打上数: 12,000発  
 ■尺五寸玉: 10発  
 尺玉: 100発(うち芸術玉20発)  
 ■観客数: 65万人

東日本大震災被災地の復興を祈願し、復興支援花火を打上げました。